

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初,12 月補正	事 項	山鳥坂ダム建設費負担金								予算主管課		河川課				
	事 業 概 要	肱川流域は、洪水により頻繁に浸水被害が発生していることから、流域全体で行う複合的な対策の一つとして、流域の治水安全度の向上を図るため、国が行う山鳥坂ダム建設事業への負担金を支出する。								始期		1986				
										終期		2032				
	K P I	事業進捗率														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	38.8 %		目標値	42.5 %		
		実績値	%		実績値	%		実績値	35.5 %		実績値	40.1 %		実績値	%	
		ストック /フロー	ストック		達成率	%		達成率	%		達成率	103.4 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	1851587 千円		最終現計 予算額	1788459 千円		最終現計 予算額	3242345 千円		最終現計 予算額	千円	
	決算額				1851471 千円		決算額	1788060 千円		決算額	3242260 千円		決算額	千円		
						繰越額	千円		繰越額	千円						
						不用額	85 千円		不用額	千円						
7 年 度	要因分析		要因													
			総括													
	見直し方向性		維持		令和7年度のKPIの実績は想定通りであり、令和8年度以降も重要要望などを通して国に積極的に要望することによりKPIは目標達成すると見込まれることから、見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初、2 月補正	事 項	直轄ダム事業費負担金										予算主管課		河川課		
	事 業 概 要	国直轄ダム（野村ダム、柳瀬ダム）の堰堤改良事業の当該年度事業費に対して負担する。										始期		2013		
												終期				
	K P I	野村ダム・柳瀬ダム事業進捗率（事業費ベース）														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	31 %		目標値	46 %		目標値	63.8 %		目標値	78.7 %		
		実績値	21.9 %		実績値	31.4 %		実績値	48.1 %		実績値	66.3 %		実績値	%	
		ストック /フロー	ストック		達成率	101.3 %		達成率	104.6 %		達成率	103.9 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	740252 千円		最終現計 予算額	1154946 千円		最終現計 予算額	1417873 千円		最終現計 予算額	千円		
				決算額	740138 千円		決算額	1154794 千円		決算額	1417872 千円		決算額	千円		
						繰越額	千円		繰越額	千円						
						不用額	1 千円		不用額	千円						
7 年 度	要因分析	要因														
		総括														
	見直し方向性	維持	令和7年度のKPIの実績は想定通りであり、令和8年度以降も重要要望などを通して国に積極的に要望することによりKPIは目標達成すると見込まれることから、見直しは想定していない。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

3

当初,6月補正,9月補正,12月補正,2月補正	事 項	河川改修費							予算主管課	河川課
	事 業 概 要	県管理区間内の一級河川又は二級河川において改良工事を行う。							始期	
									終期	
	K P I	計画延長に対する事業実施率								
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度
		R 4 年 度		目標値	0.3 %	目標値	0.6 %	目標値	0.9 %	目標値 1.2 %
		実績値	0.2 %	実績値	0.4 %	実績値	0.6 %	実績値	%	実績値 %
		ストック/フロー	ストック	達成率	133.3 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率 %
	コ ス ト			最終現計 予算額	1025439 千円	最終現計 予算額	1473688 千円	最終現計 予算額	22988610 千円	最終現計 予算額 千円
				決算額	1025439 千円	決算額	1473688 千円	決算額	12284033 千円	決算額 千円
								繰越額	10704554 千円	繰越額 千円
								不用額	23 千円	不用額 千円

7 年 度	要因分析	要因 R 9 年 4 月頃、判明予定。								
		総括								
	見直し方向性	維持	R 7 年度実績値は現時点で確定していないが、概ね目標値に達する可能性が高いため、8 年度の執行方法や 9 年度予算での見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

4

当 初,12月補正	事 項	洪水避難支援体制強化事業費							予算主管課	河川課
	事 業 概 要	水害や土砂災害から県民の生命を守るため、市町の避難指示等の発令や県民の避難行動を支援するソフト対策を実施し、避難体制の強化を図る。							始期	2005
									終期	
	K P I	洪水浸水想定区域図作成率								
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度
		R 4 年 度		目標値	69.708 %	目標値	84.915 %	目標値	100 %	目標値 %
		実績値	%	実績値	34.9 %	実績値	63.4 %	実績値	100 %	実績値 %
		ストック/フロー	ストック	達成率	49.86 %	達成率	74.7 %	達成率	100 %	達成率 %
	コ ス ト			最終現計 予算額	68293 千円	最終現計 予算額	113158 千円	最終現計 予算額	1444602 千円	最終現計 予算額 千円
				決算額	68107 千円	決算額	113014 千円	決算額	1003533 千円	決算額 千円
								繰越額	440920 千円	繰越額 千円
								不用額	149 千円	不用額 千円

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	R7年度に想定最大規模降雨による浸水想定区域図作成が完了したことにより、これまでの目標を達成したところであるが、今後も多段階浸水想定図を作成するなど更なる県民の避難体制強化を図ることとしており、R8年度以降は新たなKPIを設定している。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初

事 項	県単河川局部改良費								予算主管課		河川課			
事 業 概 要	補助事業の採択基準に合わないもので、治水機能が著しく低下している箇所において、 一連区間の河川改良及び局部的な改良等を行う。 ・河積の拡大 ・老朽化護岸等の補修、改築等								始期					
									終期					
K P I	事業実施率													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %				
	実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	97.6 %		実績値	96.8 %			
	実績値	100 %		実績値	97.6 %		実績値	96.8 %		実績値	%			
	ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	97.6 %		達成率	96.8 %			
	コ ス ト		最終現計 予算額	122134 千円		最終現計 予算額	100132 千円		最終現計 予算額	256738 千円		最終現計 予算額	千円	
			決算額	116787 千円		決算額	97302 千円		決算額	180778 千円		決算額	千円	
						繰越額	69848 千円		繰越額	千円				
						不用額	6112 千円		不用額	千円				

7 年 度	要因分析	要因 工事進入路の設置個所や運搬路等について、地元調整に日数を要し、工事着手に遅れが生じている箇所があるため、目標未達成となった。									
		総括									
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は概ね目標を達成しており、近年の実績や8年度以降の状況を踏まえると、今後も目標達成すると見込まれることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	県単河床掘削事業費								予算主管課		河川課				
	事 業 概 要	河川に土砂が堆積し、雑木等が繁茂するなど、治水機能が著しく低下している箇所において、土砂等の撤去を実施することにより、河川機能の維持を行い、浸水被害の防止・軽減を図る。								始期						
										終期						
	K P I	土砂堆積箇所実施率（事業費ベース、年間）														
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	70 %		目標値	70 %		目標値	70 %		目標値	70 %		
		実績値	67 %		実績値	78.9 %		実績値	70.7 %		実績値	70.3 %		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	112.71 %		達成率	101 %		達成率	100.4 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	152212 千円		最終現計 予算額	164213 千円		最終現計 予算額	261046 千円		最終現計 予算額	千円		
				決算額	146903 千円		決算額	157938 千円		決算額	180895 千円		決算額	千円		
					繰越額	75848 千円		繰越額	千円							
					不用額	4303 千円		不用額	千円							
	7 年 度	要因分析	要因													
総括																
見直し方向性		維持	7年度のKPIの実績は目標を達成しており、近年の実績や8年度以降の状況を踏まえると、今後も目標達成すると見込まれることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	河川受託事業費								予算主管課		河川課			
	事 業 概 要	河川工事に起因して必要となる市町の橋りょう改築工事等について、市町長等からの委任に基づき、県が河川工事と併せて施工する。								始期					
										終期					
	K P I	事業進捗率（事業費ベース）													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %				
		実績値	100 %		実績値	98.3 %		実績値	95.8 %		実績値	%			
		ストック /フロー	フロー		達成率	98.3 %		達成率	95.8 %		達成率	%			
		コ ス ト		最終現計 予算額	349401 千円		最終現計 予算額	33355 千円		最終現計 予算額	284918 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	338655 千円		決算額	33355 千円		決算額	116657 千円		決算額	千円	
						繰越額	153668 千円		繰越額	千円					
							不用額	14593 千円		不用額	千円				
7 年 度	要因分析	要因 河床に露頭する中硬岩の掘削にかかる工法選択に日数を要したことから、工事着手が遅れ未達成となった。													
		総括													
	見直し方向性	維持	関係市町の財政状況に応じて予算規模が変動するものであり、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初

	事 項	民活河床掘削推進事業費								予算主管課		河川課			
	事 業 概 要	河川に土砂が著しく堆積し治水機能が低下している箇所のうち、コンクリート骨材及び盛土材等として有効利用が見込まれる箇所について、土砂の採取を希望する企業等を支援することにより、民間活力を導入した効率的な河床掘削を推進し、流下能力の早期回復を図る。								始期		2008			
										終期					
	K P I	民間企業による撤去土砂量													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	40000 m3		目標値	40000 m3		目標値	40000 m3				
		実績値	16000 m3		実績値	6700 m3		実績値	700 m3		実績値	960 m3			
		実績値			実績値	m3		実績値			実績値				
		ストック /フロー	フロー		達成率	16.75 %		達成率	1.8 %		達成率	2.4 %			
		達成率	%		達成率			達成率			達成率				
	コ ス ト			最終現計 予算額	18800 千円		最終現計 予算額	18800 千円		最終現計 予算額	18800 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	17173 千円		決算額	17525 千円		決算額	18427 千円		決算額	千円	
				繰越額	千円		繰越額	千円							
				不用額	373 千円		不用額	千円							
7 年 度	要因分析	要因 民間企業からの土砂採取の需要が想定以上に少なく、未達成となった。													
		総括													
	見直し方向性	維持		7年度の目標達成率が想定よりも低調であったが、今後の推移は社会情勢等にも左右されるため、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初

事 項	河川地震防災強化対策事業費										予算主管課	河川課							
事 業 概 要	大地震発生により護岸等の河川構造物が損壊し、その後の出水による二次被害を防止するため、堤防区間以外の重要水防箇所や緊急輸送道路等に隣接する箇所のうち、治水安全上、必要性・緊急性の高い箇所の護岸等の改修や樋門等の改良を行う。										始期	2012							
											終期	2025							
K P I	重要水防箇所解消率（H30年度末比）																		
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度							
	R 4 年 度		目標値	12 %		目標値	14.7 %		目標値	17 %		目標値	%						
	実績値	10.7 %		実績値	26.8 %		実績値	28.8 %		実績値	29.8 %		実績値	%					
	ストック /フロー	ストック		達成率	216.13 %		達成率	195.9 %		達成率	175.3 %		達成率	%					
	コ ス ト			最終現計 予算額	360705 千円			最終現計 予算額	517897 千円			最終現計 予算額	368523 千円			最終現計 予算額	千円		
				決算額	337149 千円			決算額	490151 千円			決算額	368522 千円			決算額	千円		
										繰越額	千円			繰越額	千円				
										不用額	1 千円			不用額	千円				
7 年 度	要因分析	要因																	
		総括 本事業の実施等により、7年間で重要水防箇所の解消率（H30年度末比）が約30%まで向上するなど、KGI実績値の向上に好影響を与えることができた。令和7年度からは流域治水対策推進事業費に統合し、治水事業の早期発現を図る。																	
	見直し方向性																		

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初

	事 項	河川堤防強化緊急対策事業費								予算主管課	河川課		
	事 業 概 要	平成27年9月の茨城県鬼怒川流域の堤防決壊による大規模水害など、全国の被害発生状況を踏まえた決壊や越水の危険性のある堤防区間において、特に緊急性が高い区間で堤防補強等の整備を行う。								始期			
										終期			
	K P I	対象区間の堤防補強等整備率											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	53 %		目標値	70 %		目標値	100 %		
		実績値	47 %		実績値	51 %		実績値	68 %		実績値	71 %	
		実績値	47 %		実績値	51 %		実績値	68 %		実績値	71 %	
		実績値	47 %		実績値	51 %		実績値	68 %		実績値	71 %	
		ストック /フロー	ストック	達成率	96.23 %		達成率	97.1 %		達成率	71 %		
		達成率	96.23 %		達成率	97.1 %		達成率	71 %		達成率	%	
	コ ス ト	最終現計 予算額	75229 千円		最終現計 予算額	73889 千円		最終現計 予算額	114111 千円		最終現計 予算額	千円	
決算額		69785 千円		決算額	69177 千円		決算額	114111 千円		決算額	千円		
						繰越額	千円		繰越額	千円			
						不用額	千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析	要因 工事用進入路の設置箇所や運搬路等について、地元調整に日数を要し、工事着手に遅れが生じている箇所があるため、目標未達成となった。											
		総括 本事業の実施により、対象区間の堤防補強等の整備率が約71%となるなど、KGI実績値の向上に好影響を与えることができた。令和7年度からは流域治水対策推進事業費に統合し、治水事業の早期発現を図る。											
	見直し方向性												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

11

当初,9
月補正

事 項	河川防災緊急対策事業費										予算主管課	河川課
事 業 概 要	土砂の堆積が著しい河川のうち、治水安全上、必要性・緊急性が高い重要水防箇所等において、河床掘削及び雑木等の除去を行い、流下能力を速やかに回復させ浸水被害の防止・軽減を図る。										始期	2012
											終期	
K P I	土砂堆積箇所実施率（事業費ベース、年間）											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	70 %	目標値	70 %	目標値	70 %	目標値	70 %		
	実績値	67 %	実績値	78.9 %	実績値	70.7 %	実績値	70.3 %	実績値	%		
	ストック /フロー	フロー	達成率	112.71 %	達成率	101 %	達成率	100.4 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	438457 千円	最終現計 予算額	407078 千円	最終現計 予算額	1345082 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	417423 千円	決算額	390245 千円	決算額	876403 千円	決算額	千円		
				繰越額	450561 千円	繰越額	千円					
				不用額				18118 千円	不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標を達成しており、近年の実績や8年度以降の状況を踏まえると、今後も目標達成すると見込まれることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

12

当初,9
月補正

事 項	流域治水対策推進事業費										予算主管課	河川課
事 業 概 要	地球温暖化に伴う気候変動の影響により、平成30年の西日本豪雨のような甚大な被害の発生や、更なる水害リスクの増加が懸念されるなか、「流域治水プロジェクト」に位置付けた各種施策を強力に推進し、関係機関との連携により、治水効果の早期発現を図る。										始期	2022
											終期	
K P I	対象工事進捗率（事業費ベース）											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	%	目標値	%	目標値	42.5 %	目標値	49.5 %		
	実績値	%	実績値	%	実績値	%	実績値	43.5 %	実績値	%		
	ストック /フロー	ストック	達成率	%	達成率	%	達成率	102.4 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	69669 千円	最終現計 予算額	76559 千円	最終現計 予算額	1430384 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	60960 千円	決算額	74541 千円	決算額	609100 千円	決算額	千円		
							繰越額	783222 千円	繰越額	千円		
				不用額	38062 千円	不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標を達成しており、近年の実績や8年度以降の状況を踏まえると、今後も目標達成すると見込まれることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

13

当初,12月補正,2月補正	事 項	直轄河川事業費負担金								予算主管課	河川課	
	事 業 概 要	国が実施する肱川及び重信川の直轄河川改修等の当該年度事業費に対して負担する。								始期	1944	
										終期		
	K P I	肱川・重信川河川事業進捗率（事業費ベース）										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	57 %	目標値	59 %	目標値	61 %	目標値	63 %	
		実績値	52 %	実績値	55 %	実績値	58 %	実績値	59 %	実績値	%	
		ストック/フロー	ストック	達成率	96.5 %	達成率	98.3 %	達成率	96.7 %	達成率	%	
	コ ス ト	最終現計 予算額	649281 千円		最終現計 予算額	1005487 千円		最終現計 予算額	819538 千円		最終現計 予算額	千円
		決算額	649281 千円		決算額	1005486 千円		決算額	819537 千円		決算額	千円
							繰越額	千円		繰越額	千円	
							不用額	1 千円		不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因 国の事業再評価において物価上昇等に伴い事業費が見直され、分母である全体事業費が増加したことが目標値未達成の要因となっている。										
		総括										
	見直し方向性	維持	令和7年度のKPIの実績は想定を少し下回っているが、令和8年度以降も重要要望などを通して国に積極的に要望することによりKPIは目標達成すると見込まれることから、見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

14

当初

事 項	流域治水実践支援プログラム事業費										予算主管課	河川課			
事 業 概 要	気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等に対応するための流域治水の取組みの一環として、豪雨時における雨水の河川・水路への流出抑制を図るほか、県民の意識醸成を推進する。										始期	2024			
											終期	2026			
K P I	肱川流域貯留可能量														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	m ³		目標値	300000 m ³		目標値	700000 m ³		目標値	1000000 m ³		
	実績値	m ³		実績値	m ³		実績値	215708.242 m ³		実績値	350710.299 m ³		実績値	m ³	
	ストック/フロー	ストック		達成率	%		達成率	71.9 %		達成率	50.1 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	10424 千円		最終現計 予算額	10424 千円		最終現計 予算額	千円	
決算額				千円		決算額	3389 千円		決算額	3469 千円		決算額	千円		
						繰越額	千円		繰越額	千円					
						不用額	6955 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析		要因 耕作者との調整に時間を要したことで、田んぼダムの堰板設置数が伸び悩んだ。加えて、雨水貯留浸透施設の設置応募数が当初想定を下回ったため、未達成となった可能性がある。												
			総括												
	見直し方向性		改善	雨水貯留浸透施設に係る補助制度について、住民の活用はあるものの企業における活用実績がないという現状を踏まえると、令和8年度も同様の状況が見込まれるため、令和8年度の執行から雨水貯留浸透施設の設置に係る補助制度の周知を民間企業等まで広げることができるよう広報活動の改善を図り、対象の新規掘り起しを行うことで更なる成果の向上に繋げる。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。